

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	第 13 号
受 理 年 月 日	令和4年8月23日
件 名	生理用品の無償配布事業を税金で予算化し制度的・恒常的な実施を求める陳情
陳情者の住所及び氏名	桐生市相生町5-385-1 レオパレス101 寺口まさのぶ
陳 情 の 要 旨	<p>桐生市は生理用品の無償配布について、昨年度、企業から寄付された範囲において実施したという事である。また、県はNPO法人に委託して、相談のきっかけづくりとして生理用品の無償配布をしているようだ。</p> <p>女性の20代前半においては非正規雇用が5割を超すというデータがあり、コロナ禍で経済的に苦しんでいることが推測される。</p> <p>また8月18日の読売新聞には「日本の厚生労働省が今年3月に発表した国内調査では、20歳以下の13%が、生理用品の入手に苦労した経験があると回答している」との報道もあった。</p> <p>こんにちの桐生市の女性にも状況は大きな違いはないと推測すべきである。</p> <p>困窮する女性市民に生理用品を制度的・恒常的に無償で配布する事業を、税金の以て予算化するよう、市に提言してください。配布は小中学校、市立高校、公民館、図書館などを想定しておりますが、この他に駅など、ひとの集いやすい施設にも呼び掛けて頂きたいと思う。安心な桐生市の具体的一歩である。</p>
付 託 委 員 会	教育民生委員会
審 査 結 果	